



2024-25 年度
国際ロータリー会長
ステファニー A. アーチック

Weekly Report Niigata



2024～25 年度
新潟ロータリークラブ会長
吉田 和弘

新潟 RC 4 月第 4 例会 (2025.4.22) 創立 85 周年記念例会 No.3522

(1) 君が代、ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

(2) 物故会員黙とう

小林 敬 直君 2020. 12. 8 ご逝去

福地 利 明君 2021. 12. 2 ご逝去

鈴木 滋 弥君 2023. 2. 4 ご逝去

得 永 哲 史君 2024. 6. 15 ご逝去

(4) 来賓紹介・ご挨拶

親クラブ 東京 RC 亀谷 太郎会長



(3) 歓迎と感謝の言葉 (吉田和弘会長)

1940 年 4 月 23 日、新潟ロータリークラブは、東京ロータリークラブをスポンサークラブとして、ホテルイタリア軒を会場に誕生いたしました。創立当初のチャーター・メンバーは 29 名。そして、日本で 36 番目のロータリークラブとして正式に加盟承認を受けました。以来、85 年にわたり、奉仕の理想のもと、多くの先輩ロータリアンの皆様が地域社会、そして国際社会へ貢献してこられました。その歩みを振り返り、改めて深く敬意を表します。

そして、このような記念すべき年度において、私がクラブ会長を拝命し、皆様とこのお祝いの時間を共有できることを、大変光榮に思います。

新潟ロータリークラブがこの先 90 年、100 年と歴史を重ねていく中で、皆様との友情が一層深まり、共に発展し、ロータリー活動の本質である「奉仕の理想」を伝え続けていくことを祈念いたしまして、私からの感謝と歓迎の言葉といたします。

姉妹クラブ 香港島東 RC Bonnie YEUNG 会長



(5) 記念事業報告及び目録贈呈

① 能登半島地震被災者支援として

新潟市へ寄付 100 万円

② ロータリー財団へ寄付 1, 000 ドル

③ ロータリー米山記念奨学金へ寄付 10 万円

④ ロータリー保育園へ修繕費用



(6) ロータリー保育園園長挨拶（神林貴子園長）

ただいまご紹介にあずかりました新潟市立ロータリー保育園 園長の神林と申します。本日は、このような晴れがましい場にお招きいただきまして、厚く御礼申し上げます。また本日は、新潟ロータリークラブ創立 85 周年を迎えられましたこと、誠にありがとうございます。この度は、新潟ロータリークラブ様より、保育園の修繕支援金をご寄贈いただき、誠にありがとうございます。ご寄贈いただきました修繕支援金を、保育園玄関のセキュリティ強化に活用させていただき、未来ある大切な子どもたちの命を守ることに役立ててまいりたいと思います。当保育園は、昭和 30 年に発生した新潟大火の際に、新潟市の復興のため、ロータリークラブ様からいただいた寄付金をもとに、昭和 33 年に新潟市内 20 番目の保育園として設立されました。設立当初より現在まで、児童福祉対策に多大なるお力添えをいただきましたお陰で、ロータリー保育園も創立 68 年目を迎えることができました。また、皆様には、毎年保育園で行われるクリスマス会や節分の会にもご参加いただいております。クリスマス会では「ロータリーサンタと仲間たち」、節分の会では「福の神」に変身してくださり、子どもたちと交流していただきました。また、園児全員にお菓子のプレゼントもいただき、本当にありがとうございました。現在、生後 2 か月から就学前のお子様までお預かりしていますが、昨年度の交流の際は、ロータリークラブの皆様のあたたかく優しい雰囲気を感じているのか、どの年齢の子どもたちも、とても嬉しそうに皆様と触れあいを楽しんでいる姿が印象的でした。皆様には、当保育園のために日頃よりご尽力いただいていることを、大変感謝しております。新潟市の公立保育園は現在 78 園ありますが、大きなサポーターがいてくださるこの当保育園の子どもたち・保護者様・職員は、幸せだな～と感じております。本日は、子どもたちから「ロータリーサンタさん・福の神さん」へのメッセージを預かってきましたので、この場を借りてお伝えさせていただきます。子どもたちの可愛らしい声をお聴きください。子どもより…「ロータリーサンタさん、福の神さんいつもありがとう。保育園にまたあそびにきてね」

子どもたちのメッセージをもちまして、御礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

(7) 記念卓話「ロータリーあれこれ」

小山 楯夫元会長

（卓話内容は 5 ページ以降に記載）

(8) 幹事報告（小林 慶直幹事）

・諸事連絡 懇親会場への移動のご案内

(9) 4 月 22 日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
76	75	65	86.63%

ご 参 加 者

東京ロータリークラブ会長

香港島東 RC 7 名

前橋ロータリークラブ 11 名

ガバナー

ガバナーエレクト

パストガバナー 4 名

ガバナー補佐

地区幹事

子クラブ会長幹事 8 名

第二分区内ロータリークラブ会長幹事 10 名

新潟明訓高等学校校長

新潟明訓高等学校 IAC 顧問

ロータリー保育園園長

米山奨学生 3 名

新潟 RAC 副会長

元会員 2 名

新潟ロータリークラブ会員夫人 3 名

新潟市内 RC 連合事務局職員 4 名

ピアノ演奏者 1 名

新潟ロータリークラブ会員 65 名

総勢 127 名

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

＝懇 親 会 次 第＝

司会 酒井昌彦親睦委員長



・ 乾杯発声（南雲博文ガバナー）



～懇親会～

・ 来賓紹介（吉田和弘会長）

新潟県内 16 蔵の地酒コーナー

・ 来賓挨拶（岡部幹雄前橋 RC 会長）



新潟調理師専門学校生による新潟ロータリークラブ
85 周年記念オリジナルカクテル

・ 笠原翔大さん、上原凌さん、金子花鈴さん

～歓談 会食～

・ ロータリーソング「手に手つないで」斉唱
指揮 （南雲俊介 85 周年副実行委員長）

・ 古町芸妓の祝舞



・ 鏡開き

東京ロータリークラブ 亀谷太郎会長
香港島東ロータリークラブ Bonnie YEUNG 会長
前橋ロータリークラブ 岡部幹雄会長
南雲博文ガバナー
室賀信宏ガバナーエレクト
長岡ロータリークラブ 小川智史会長
新津ロータリークラブ 横山英男会長
新潟ロータリークラブ 吉田和弘会長
新潟ロータリークラブ 佐藤邦栄会長エレクト

・ 新潟ロータリークラブ創立 85 周年記念例会祝賀会
ダイジェスト映像

・ お礼のご挨拶（若槻良宏 85 周年記念式典実行委員長）





85 Rotary Club of Niigata
新潟ロータリークラブ 85周年記念祝賀会
Niigata Rotary Club 85th Anniversary Celebration

地酒コーナー
Local Sake Corner

金鶴 純米酒 風和
Kintsuru Junmai Sake Kaze yawaraka

真野鶴 純米吟醸
Meno Tsuru Junmai Ginjo

北雪 大吟醸
Hokusetsu Daiginjo

菊水 吟醸 無冠帝
Kikusui Ginjo Mukantei

白龍 純米大吟醸「越後府」
Hakuryu Junmai Daiginjo "Echigo-fu"

花越路 かるから純米吟醸
Hanakoshiji Karokaro Junmai Ginjo

越乃鹿六 純米吟醸酒
Koshino karoku Junmai Ginjo

麒麟山 なごり雪
Kirinzan Nagoriyuki

越の鶴 プレミアム純米酒
Koshi no Tsuru Premium Junmai Sake

あべ 純米吟醸
Abe Junmai Ginjo

久保田 純米大吟醸
Kubota Junmai Daiginjo

かたふね 純米
Katafune Junmai

八海山 大吟醸 精米 55%
Hakkaisan Daiginjo Polished Rice 55%

高千代 高龍 翠
Takachiyo Kouryu Sui

鮎正宗 純米吟醸 銀ラベル 鮎
Ayu Masamune Junmai Ginjo Silver Label Ayu

2025年4月22日 April 22, 2025



新潟ロータリークラブ創立 85 周年(3552 回)例会スピーチ原稿

「ロータリーあれこれ」

新潟ロータリークラブ

会員 小山楯夫

2025 年 4 月 22 日



本日のお話は卓話ではありません。

ロータリーに入会して初めて卓話と云う言葉を知りました。辞書を引いたのですが載っていませんでした。これは、ロータリー造語の様です。

「卓」とは、テーブル、食卓、などの他、「卓越した、卓ぐれた、卓越(タクエツ)卓識(タクシキ)卓説(タクセツ)などの卓です。卓越した・すぐれた事です。「卓話」とは、卓越した、素晴らしい話の事です。

ロータリー用語間違いのあれこれ

例えば・・・、

「先週、OORC へメークアップして卓話してきました。」

これをそのまま訳しますと、「私は先週、OORC に欠席補填して素晴らしい話をしてきました。」となります。卓話かどうかは、聴いた人が判断することで、スピーカー本人がいう事ではないと思います。

奉仕と Service、社会と Community、親睦と Fellowship の違いなど・・・。

これ等の言葉を正しく理解して使わないと、長い年月のうちに意味の異なることが起こります。

ロータリーにとって、切っても切れない言葉に「奉仕」があります。「奉仕の理想」、「超私の奉仕」、「最も良く奉仕する者・・・」、「五大奉仕活動」等々、どのページを開いても「奉仕」の文字が載っていないページがありません。「奉仕」という言葉は、誰でも聞いた事があり、知っていると思いますが、日本のロータリーではこの言葉をどの様に使っているのでしょうか。

公式ドキュメント(英語)には、“Service”と書かれています。「異なる国の言葉に翻訳して意味が理解できない時は、原語の英語に戻りなさい。」とロータリー章典に記されています。しかし、“奉仕”と邦訳されているので、勝手に変える事はできません。公式原語は“Service”です。

では、“Service”を英和辞典で引いてみると、「職務、公務、軍務、兵役、(役所などの)部、局、課、礼拝、助力、奉仕、世話、貢献、有益、給仕サービス、修理、食器の一式、(汽車、船の)便、(郵便、電話、ガス、水道などの)公共事業など、」おまけにテニスなどのサービスまで載っています。テニス・卓球のサービス、シークレット・サービス、給油所のサービス・ステーション、これ等のサービスを日本語に訳すとどうなるでしょう???

モーニング・サービスは??? → 英語では「朝の礼拝」を意味します。“Service” とは、他の人の為に何かをすることのようです。

翻訳者は、当然、単純に「奉仕」を選択したのでしょうか。これだけ“Service” に広い意味があるとすれば、“Service” を単に我々は「奉仕」と同意語としてロータリーに取り入れて差し支えないのだろうか疑問に感じました。

新潟 RC と香港島東 RC は姉妹クラブ関係にあります。香港(中国語)では Service を「職務・業務・任務など」、ロータリーを「扶輪社= Fú lún shè(互いが輪になって前の人の背中を搔く、バック・スクラッチング)」と言っています。

では、“奉仕”を広辞苑で引いてみると「1. 謹んで仕えること。(神に奉仕する) 2. 利害を離れて国家や社会などのために尽くすこと。(社会に奉仕する) 3. 商人が品物を安く売ること。(特価で御奉仕しております)(奉仕品)」 僅か三つの概念しか載っていませんでした。 2. の概念がロータリーソング「奉仕の理想」の歌詞、“御国に捧げん我等の生業”に一番近い意味かも知れませんが、それでも良く理解できないのです。

「奉仕」と云う言葉を用いたことによって、日の当たらない弱者救済、人道的、災害援助、地域福祉など、社会奉仕的援助活動がロータリーの主流の活動になってしまいました。ロータリーで言う“Service”を「奉仕」と訳して良いのでしょうか。文脈で意味が違ってきます。人道的、社会奉仕などの支援活動、プロジェクトを勿論否定しているわけではありません。これ等の活動は、専門的な機関(赤十字、ユニセフ、NGO や市民社会組織)などがすでに存在し、立派に活動しています。ロータリアンは、個人として大いに、これらの活動に参加、支援すれば良いと思います。

ロータリーの変えてはならない“理念・哲学・目的”が変わってしまえば、他の奉仕団体や慈善団体と区別がつかなくなり、訳の分からない団体になってしまいます。悪く言えば RI の世界統一教会化です。

東京ロータリークラブの創設者、米山梅吉氏がガバナー月信で“Service”を「奉仕」と書かず、“サーヴィス”とカタカナで書き続けた意図が何となく理解できるのです。

では、ロータリーで“service”はどう訳せばいいのでしょうか。強いて言うならば「職務、業務、任務、・・・、務める、」ことではないでしょうか。クラブが会員に付与している職業分類の異業種会員が其々、自分の職務、業務、役務、任務、責務、服務に高い道德・倫理を以って実践すると云う意味ではないでしょうか。日本のロータリーの「奉仕」は英語の“Service”とはニュアンスの違いが有る様に思うのです。このことによって、ロータリーの目的・理念や五大奉仕活動を難解・崇高なものにし、多額の資金、寄付・募金を必要とするものにしてしまい、一般市民や働き盛りの若い衆が近寄り難い団体になってしまっている様に思われるのです。

ロータリーは、大きな事をするには小さ過ぎ、小さな事をするには大きすぎる団体ではないでしょうか。

ロータリーの初期の Service とは・・・。

シカゴ市は、1833 年に制定され、急速に成長を遂げました。19 世紀半ばから 20 世紀初頭にかけて、多くの移民がシカゴに集まり、文化は活気ある都市の風土を形成しました。シカゴはまた、ロータリークラブの発祥地とし

でも重要な歴史を持っています。南部(ジョージア州など)は綿花を栽培し、アフリカから黒人奴隷を連れてきて、プランテーションで働かせ英国・欧州に輸出し、莫大の富を築きました。

然し、リンカーンの奴隷解放政策により 1861 年南北戦争が始まり、4 年間の戦いで北軍が勝利し奴隷が解放され、裕福な白人達は財産・職を失い、南部からアメリカ中に職を求め、重工業・交通の拠点で急速に発展していたシカゴ、カリフォルニア、ニューヨークなどに移住します。シカゴの街は人種の坩堝(るつぼ)と化します。一攫千金を夢見る人々が詐欺師まがいの商売をし、買い手責任・騙される者が損をする・騙される方が悪い。シカゴの町では「大衆は地に墜ちよ!!」と言われた時代でした。

1893 年に開かれたシカゴ万国博覧会後の大不況、ギャングの横行、金儲けのためなら手段を選ばないという職業倫理の低下、信頼関係の欠如。1905 年シカゴの殺伐とした時代背景の中から、ロータリーは、120 年前に誕生しました。

一旗あげようという思いにかられて、田舎の村や町から集まってきた善良な人達にとって、或いは、貧困や宗教的・政治的な迫害から逃れて、新天地に自由を求めてやってきた移民達にとって、シカゴは決して住みやすい街とはいえませんでした。大都会に住む一般の人たちが感じる孤独感と阻害感に加えて、ビジネスマンには苛酷な自由競争に敗れるかも知れないと言う恐怖感が付きまとっていました。そんな環境にあったからこそ、もし心の通い合った友人たちと巡り合い、胸襟を開いて語り合うために定期的に集まる事が出来たらどんなに心が安らぐことであろうという発想が浮かんだとも言えましょう。

ポール・ハリスは、

「灰色の都会が無性に侘しい。」

「信じ合える友人が欲しい。」

「同じ思いの人がたくさんいるに違いない。」

シカゴで弁護士を開業していた 36 歳のポール・ハリスと 3 人の仲間(石炭商の友人シルベスター・シール、仕立屋ハイラム・ショーレー、鉤山技師ガスターバス・ロア)が、ごまかし合いのない安心して取引できるクラブを作ることを思いついたのは、「大衆は地獄に墜ちよ!!」とさえ言われた罪悪と腐敗の街に住みながら、その街の中に、ポール・ハリスが少年時代を過ごしたニューイングランド地方の小さな町(バーモント州ウォーリングフォード)で感じた安らぎを取り戻そうとする、ささやかな実験でもあったのです。

ごく普通の、街の弁護士を中心に、決して高い学歴の持ち主とはいえない、ごく平凡な商店主や中小企業の経営者が集って、クラブが発足したことは重要な事柄です。特に日本では、社会的な地位や事業の規模を重視した会員選考が行われる傾向が強いようですが、本来、ロータリークラブは、エリートと呼ばれる人たちを集めて作った組織ではなく、ロータリー運動を通じてエリートが誕生したことを忘れてはなりません。

[1906 年制定シカゴクラブ定款]

1. 本クラブ会員の事業上の利益の増大
2. 通常社交クラブに付随する親睦およびその他の特に必要と思われる事項、この 2 条しかなかったのです。

ロータリーの目的（ロータリーの綱領 1910 年制定）

「ロータリーの目的」Object of Rotary

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として（以下、奉仕をサーヴィスと書き換えます）サーヴィス（奉仕）の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

第 1 知り合いを広めることによってサーヴィス（奉仕）の機会とすること；

第 2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会（Community 小さな社会）にサーヴィス（奉仕）する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；

第 3 一人ひとりが、個人として、また事業および社会生活において日々、サーヴィス（奉仕）の理念を実践すること

第 4 サーヴィス（奉仕）の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること；

（注：上記目的は、四大奉仕部門の使命ではない。）

（標準クラブ定款 第 16 条 ロータリーの目的の受諾と定款・細則の順守）

「ロータリーの目的」はその原文が Object of Rotary であることから分かるように、「ロータリーの目的（綱領）を受諾し、定款・細則を遵守することを誓約した人だけが、ロータリアンとしての特権が与えられ、いかなる理由があろうとも、そのことを知らなかったとか、そのことが書かれた印刷物を受け取っていないという言い訳は認められません。」とあります。

「目的」受諾を条件に入会を認めると言う取り決めは、ロータリークラブ独特の方法かも知れません。

ロータリーの考え方

ロータリーの目的が、「意義ある事業の基礎として Service（奉仕）の理念を奨励し、これを育むことにある」と銘記されていることから、

ロータリー運動の原点は、職業 Service（奉仕）であり、職業倫理高揚の運動なのです。

世の中に数多く存在するクラブの中で、Vocational Service（職業奉仕）と、その実践を根底に置いて活動をしているクラブはロータリークラブ以外にはなく、言い換えれば、職業・職務の倫理基準を高揚する、Vocational Service（職業服務）クラブである事がロータリークラブの特徴です。

贈収賄、談合、食品偽装、不正経理などのニュースがマスコミを賑わします。最近ではビッグモーター、ジャニーズ事務所、中井正広、統一教会問題、リサイクル・アスファルト使用した道路建築会社、車のリコール隠し、ロータリアン関係者では、ミートホープ、船場吉兆、日本漢字検定協会理事長、森本・加計学園、等々、中にはガバナー経験者の名前もあります。不祥事を起こした企業の当事者の名前を、ロータリークラブ会員名簿で発見すると、ロータリー運動の無力さを痛感するのです。

ロータリーの理念を否定して、これらの犯罪をおこすことによって長い間に築き上げてきた、自らの企業を一夜にして倒産させ、従業員、下請け、取引先や家族など、多くの関係者を路頭に迷わすことになるのです。これ等の関係者は言い換えれば、小さな社会 (Community) です。

この地域社会に貢献どころか破壊を及ぼしては職業 Service (奉仕)、Community Service (社会奉仕) 活動とは言えません。ロータリー運動は以上の通り、各自の職業を通して (地域社会) に公正な Service (業務・職務・任務・責務) を実践することなのです (目的第 2 項)。これは第 3 項に繋がり「社会生活 (奉仕)」 (Community Service) で、1927 年に制定されました。

私が言いたいのは、職業 Service (奉仕) と社会 Service (奉仕) は、表裏一体、原因と結果だという事です。記号で表すと (≡) です。

「Service の原則と保全の法則」 (アーサー・フレデリック・シェルドンの論文には、Service を次のように定義しています。

ロータリーでの職業 Service とは:

1. 仕事を管理する人たち (企業主) を管理すること。
2. 管理される人たち (従業員) を管理すること。
3. この両者に顧客を加えた集団を管理すること。

さらに、これに時間やエネルギーやお金や材料を無駄遣いせず有効に活用して保全することを付け加えることです。これはすべて安心と豊かな実りを獲得するための道です。

ロータリーの標語 (Rotary Mottos)

第 1 標語 「Service above self」⇒ 「超我の奉仕」 (ベンジャ ミン・フランク・コリンズ ミネソタ RC) 日本では「Service not self」⇒ 「滅私奉公」

第 2 標語 「He profits most who serves best」 (AF・シェルドンがロータリーに寄贈した標語) → 「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」これら二つの標語は、人道的、社会奉仕的な奉仕を意味するものではありません。

四つのテスト (ハーバート・テラー)

言行はこれに照らしてから

1. Is it TRUTH ? 真実かどうか ⇒ (顧客に対して) 正直・誠実かどうか
2. Is it FAIR to all concerned ? みんなに公平か ⇒ 取引関係者・従業員などみんなに公正か (concerned 取引関係者・従業員などが訳されていない)
3. Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS ? 好意と友情を深めるか ⇒ goodwill は単なる好意とか善意を表す言葉ではなく、商売上の信用とか評判を表すと共に、店ののれんや取引先を表します。すなわ

ち、その商取引が店の信用を高めると同時に、よりよい人間関係を築き上げて、取引先を増やすかどうかを問うものです。

4. Will it be BENEFICIAL to all concerned ? みんなの為になるかどうか ⇒ 取引関係者・従業員・顧客などみんなの為になるか

(倒産に瀕した調理器具の会社から招聘され、四つのテストを従業員に徹底させ、経営を蘇らせたハーバート・テラーがロータリーに寄贈した標語。1939-40 年にシカゴクラブの会長 1954-55 年に国際ロータリーの会長を務め、その際この四つのテストの版權を RI に寄贈し、今日に至っています)。

四つのテストは、ロータリーの職業活動の標語であって国道や街角に掲げる標語ではありません。

以上述べてきたように、ロータリアンは、個々の職業を通して顧客の為に、職業倫理基準を上げて Service (職務・業務・義務・任務) することなのです。安心して買い物・取引が出来て顧客が増え、売り上げ、利益が増える、という法則です。

Service は無料ではありません。奉仕は無料です。日本語のサービスは無料です。利益とは関係ありません。儲かりません。商売になりません。

ロータリーの理念は、決してロータリアンだけのものでは有りません。本来、例会でお互いが学んだ事を企業、地域に持ち帰り、ロータリアン以外の人々に広めて、地域社会の人々が全てロータリー理念を受け入れられることが、“Service の理想”・“超私の Service”・“最も良く Service する者 最も多く (Profit=利益・儲け) 報いられる”と言っているのです。会員の中には企業が加入金・会費・食事費等を払い代表を送っているところも少なくありません。会員は、その責任を担う裁量権を有する指導者が会員として選ばれているのです。

ロータリーで学んだ事を、其々の会員が地域社会(企業・職場)に持ち帰り、関係者(部下・従業員)などに話して聞かせることにより社員の士気は上がり、効果的な経営・業務が可能となる事でしょう。

私は、日本のロータリーで使う「奉仕」と云う意味・言葉が好きではありません。

最後に、クラブのご発展ではなく、皆様の企業・商売のご発展を祈念致します!!